



2017 子育て支援フェスティバル

子どもたちがハッピーだったら・・・世界はもっとよくなる！

山近記念総合病院 大久保実彦

小田原市子育て支援実行委員になって3年目、毎年使われるこのキャッチフレーズが大好きです。
実行委員は小田原市の子育てを支える団体有志で構成されていて
昨年11月より開催日に向けいろいろな議論を重ねフェスティバルを楽しみにしている子供たち、
子どもたちを支える保護者、保護者を支えたい！！団体が一緒になって楽しめる
そんな1日を目指して準備をしてきました。

私たち西湘放射線技師会と神奈川県放射線技師会もお母さんの笑顔が続くよう

“乳がん”の情報提供などを通して親子とふれあいながら活動してまいりました。

当日は天候にも恵まれ放射線技師会ブースに訪れる親子連れがたくさん参加していただき

骨密度測定 男性57名 女性167名 合計224名

乳房ファントム・マンモグラフィー説明 合計217名

と、大盛況で無事終わることが出来ました。

これも技師会役員皆様10名のアイデアと熱いハートに支えられた結果だと思っています。

この場を借りて日本光電工業㈱様、会員の皆様あらためてお礼申し上げます。



乳がん検診について考える。20年前、東北大学教授 大内憲明先生の講演に出席した日は
漠然と仕事をしていた私の生涯の転機となった日でもあります。

“母親が乳がんで亡くなった家族、何よりも母親のいない子供のことを考えてみてください”

“だから、マンモグラフィーの精度管理を進めていかないといけない”、....

あれから20年、マンモグラフィー撮影認定技師が当たり前のように各病院にいる時代へと変わ
りましたが会場でママに甘えている子供たちを見るとまだまだ変わる必要があります。

デンスブレストの告知、乳腺超音波の精度管理、トモシンセシスの保険対応など

実現できればもっともっとハッピーな子供が増えることと信じています。